PRESS RELEASE

国立大学法人 長崎大学 NAGASAKI UNIVERSITY

2025 年 2 月 17 日

報道機関　各位

生成 AI を利用した模擬患者アバター 共同研究成果発表（ベータ版完成）

長崎大学情報データ科学部 小林透 教授の研究グループと株式会社システック井上（代表：井上 達氏）は、長崎大学医学部医学科 川尻真也 准教授の協力のもと、生成 AI を利用した「模擬患者アバター」の製品化に向けた共同研究を 2024 年 3 月に開始しました。その際にも報道機関の皆さまにご案内をさせていただき、多くのお問い合わせをいただきましたが、この度、本製品のベータ版（試用版）が完成しましたので、下記のとおりこの研究成果を発表いたします。当日は、本学医学部における評価結果の説明や、デモンストレーションを行います。

なお、ベータ版は、特許出願をするとともに、株式会社システック井上より 3 月 1 日にリリースを行うことを予定しています。

何かと話題の生成 AI の医療現場への新たな活用について、ぜひ取材ください。なお、取材の申し込みの際は、事前に末尾の問い合わせ先までご連絡ください。

【日 時】2025 年 3 月 4 日（火）10：00～11：00（受付 9：30～）
【会 場】長崎大学テクノロジーイノベーションキャンパス（NUTIC）ラウンジスペース
（長崎市幸町 7-1 長崎スタジアムシティ NORTH 4 階）
【内 容】

① 模擬患者アバターの研究成果概要説明（小林透教授）
② 模擬患者アバターの実用性に関する評価結果の説明（川尻真也准教授）
③ 模擬患者アバター ベータ版デモンストレーション（株式会社システック井上 遠山修平氏）
④ 質疑応答

本研究の背景（模擬患者とは）

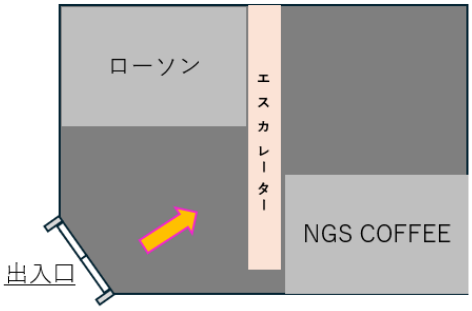
「模擬患者」とは、医学生のために患者役を演じ、事前に設定されたシナリオに基づいて、問診などの練習相手をする人のことを指します。医師が患者とのやりとり（問診などの医療面接）を学ぶには、患者の話を受け止め、理解したうえで、次の質問を投げかけるなどのコミュニケーションスキルが欠かせません。これは講義による知識の習得だけではなく、実践的な体験学習によって得られるものであり、模擬患者にご協力いただく医療面接演習は、医学生の効果的な教育につながっています。

一方で、模擬患者には実際の患者と同じような症状を再現することや、シナリオに関する理解などが求められており、本学を始め各医療教育機関では模擬患者の養成や確保が難しく、大きな課題になっています。さらに、模擬患者が対応できる疾患の種類が限られている場合も多く、様々な疾患を包括的にカバーすることは難しいという課題も存在しています。

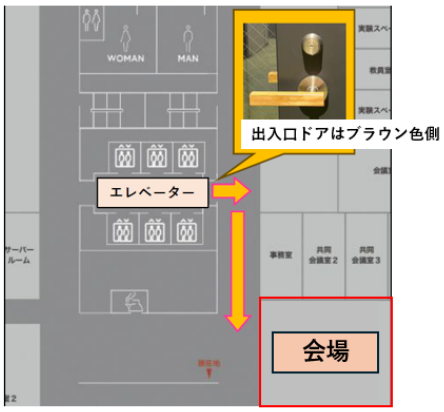
これらの課題を解決するために、長崎大学と株式会社システック井上は、模擬患者の代わりとして生成 AI を活用した「模擬患者アバター」の開発を目指し、共同研究を行っています。

【開催場所案内】

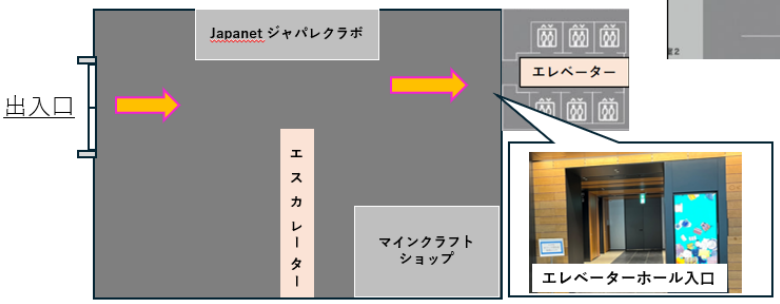
スタジアムシティNORTH 1階



スタジアムシティNORTH 4階



スタジアムシティNORTH 2階



2 階エレベーターをご利用して、4 階へお越しください。

駐車場は近隣の有料パーキングをご利用ください。本学が管理する駐車場がないため、駐車場料金は申し訳ありませんが、ご負担願います。

【参考】

小林透研究室ウェブサイト

URL：https://www.cis.nagasaki-u.ac.jp/~toru/src/

医学生トレーニング用模擬患者アバター

～ AIを利用した模擬患者参加型演習 ～

医学教育は医学に関する知識習得とあわせて、
問題解決のための実践力習得が必要とされている

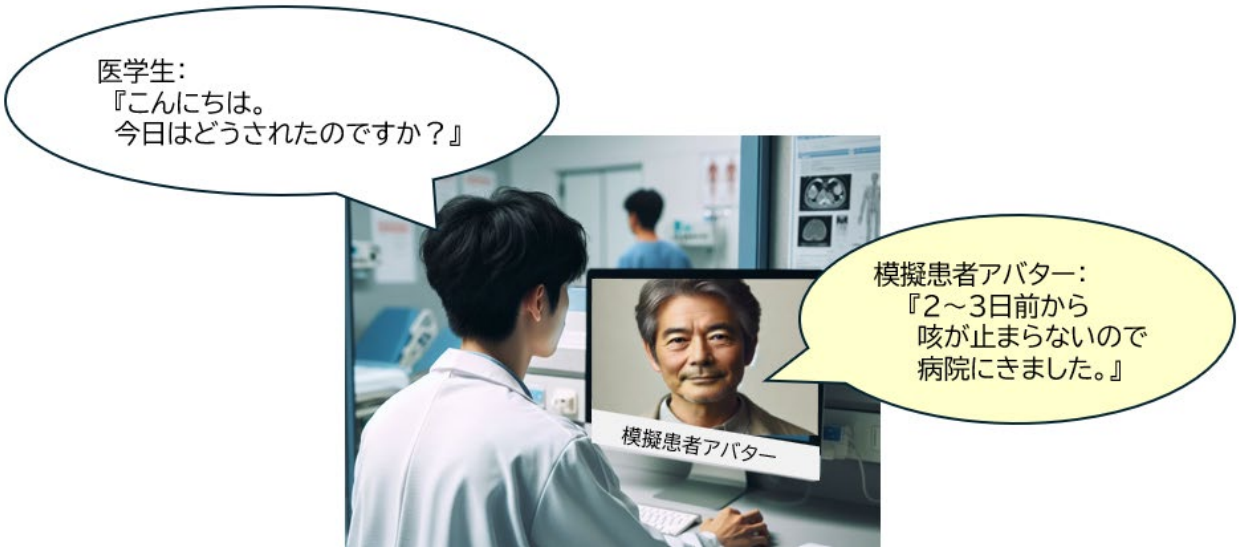
実践力を身に付けるためには、
模擬患者参加型の演習が有効である

しかし・・・

模擬患者の養成は
容易ではない

多様な疾患や状況を
網羅的にカバーすることは難しい

AIを利用した模擬患者により解決



【本リリースに関するお問い合わせ先】

長崎大学 情報データ科学部 小林透研究室（担当：松田）

TEL：095-819-2577　　Email：m.matsuda@nagasaki-u.ac.jp